

# パリ協定長期成長戦略懇談会

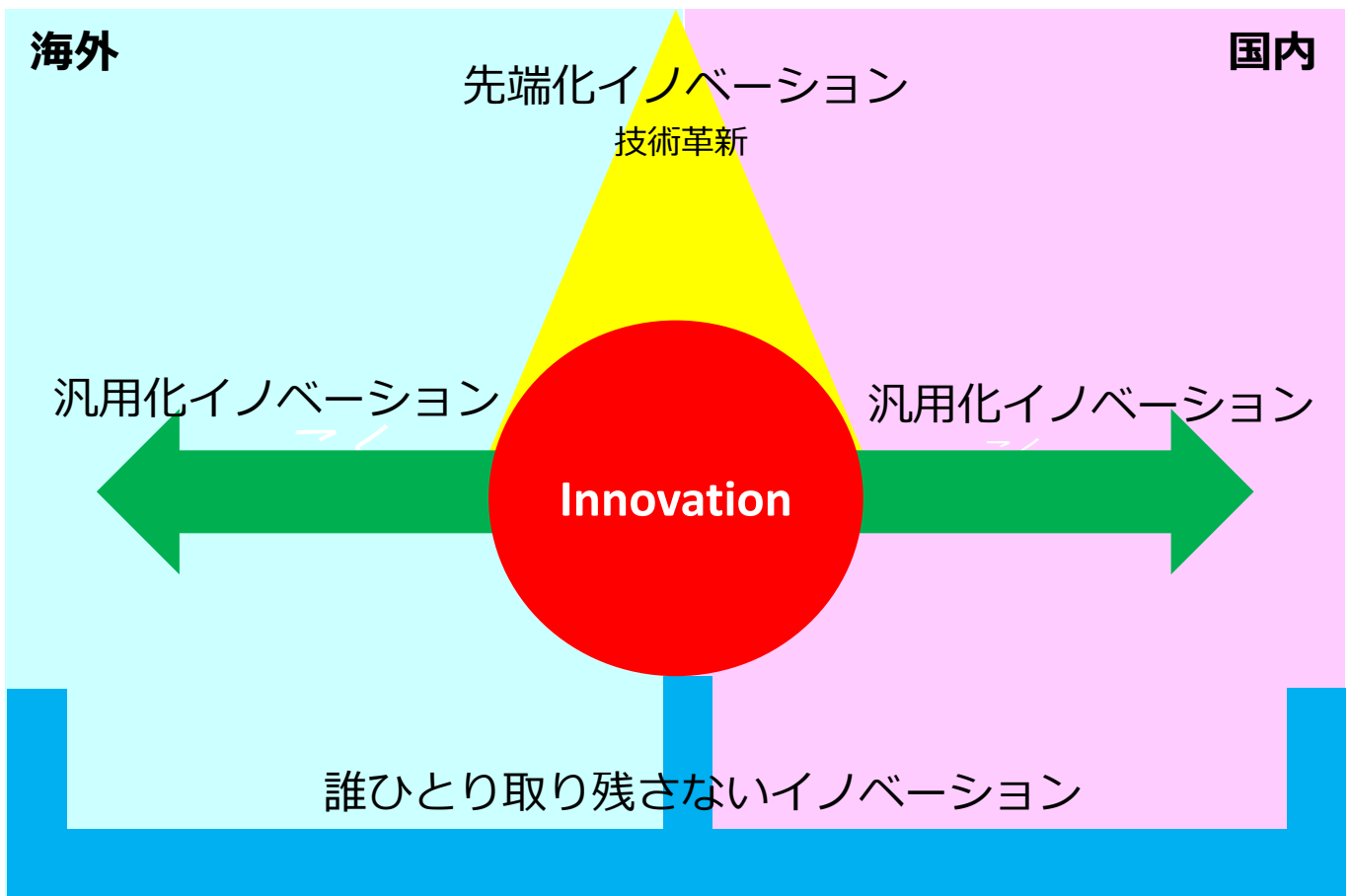
## 第2回 イノベーション

大学院大学・至善館  
幸せ経済社会研究所

枝廣淳子

1

### 3種類のイノベーションを同時に進める



# 先端化イノベーション

高い目標があつてこそ進む

スウェーデンの目標「2045年までに温暖化ガス排出量を実質ゼロに」

- 2030年までに62%削減
- 2045年までに85%削減
- 残り：CCS(CO<sub>2</sub>の回収、貯留)とカーボン・オフセット

「2045年までに化石燃料ゼロの国になる」ことを宣言

- 「スウェーデンを化石燃料ゼロの国にすることは、よりよい環境、より魅力的な都市、雇用創出につながる」
- SSAB（鉄鋼メーカー）「2045年までに化石燃料ゼロの鉄鋼を作る」

3

---

# 先端化イノベーション

パリ協定→脱炭素→エネルギー

## エネルギーのイノベーション

エネルギー基本計画（エネルギー情勢懇談会）

「第3章 2050年に向けたエネルギー転換・脱炭素化への挑戦」

- 複線シナリオ
- 科学的レビューメカニズム

4

# 汎用化イノベーション

パリ協定下の目標実現に向けて最も効果が高い

- なぜすでに優れた技術はあるのに、実際に用いられていないのか？
- なぜ日本企業は海外で再エネ事業などを展開するのか？

- コスト削減の技術開発
- 制度改革
- 社会的合意形成技術  
など

5

---

# 誰ひとり取り残さないイノベーション

英国・米国など：energy poverty：エネルギー貧困者への取り組み

例：低所得者向けソーラーアパート

- 賃貸集合住宅に、VNM（バーチャル・ネットメーティング方式）を活用
- 同じ地域内の別の場所にある太陽光発電システムの発電量を自分の電気料金に組み込み、電気料金を大きく低減

日本：過疎地、買い物・移動弱者、今後増えるとされている高齢貧困層など

6

# 政府への注文

## 1. 隗より始めよ

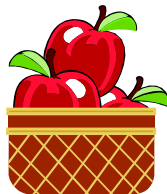
- スウェーデン政府：各行政機関が「自分たちはどのように脱炭素目標を達成するか」のレポートを公表
- 各部局の進捗を後押しするコーディネーター役を政府局に置く

## 2. 「イノベーション＝技術革新」という偏った見方を是正し、社会イノベーションも推進を

## 3. 民間・社会のイノベーションを阻んでいるものを除去する

- 例：政府の文書は長く分かりにくい
- スウェーデン政府「短くクリアに分かりやすく書く」というルールを設け、かつて数十ページだった文書も数ページで出すように。分かりやすく国民が自分たちのこととして議論できる情報を提供する役割を果たす

7



枝廣淳子

大学院大学・至善館

幸せ経済社会研究所

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-19-10  
PF浅草橋ビル5F

Tel:03-5846-9841 Fax : 03-5846-9665

[inquiry@ishes.org](mailto:inquiry@ishes.org)

<http://ishes.org/>